

(8月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
だいこん		10,028	100	10,256	85	90	83	-	-	<p>北海道産中心の入荷となる。北海道産は干ばつの影響により遅れ気味の生育となっていたが、現状は回復し平年並みとなっている。サイズは2L, L中心。8月は順調な入荷が見込まれ、前年を上回る見込み。</p> <p>岩手産は干ばつと低温の影響で生育が遅れている。肥大も悪く、平年に比べ小ぶりとなっている。入荷量は前年を下回る見込み。</p> <p>全体の入荷量は前年並みで、価格は前年を下回る見込み。</p>
にんじん		7,611	95	6,787	72	111	111	-	-	<p>北海道産中心の入荷となる。北海道産は、干ばつ傾向ながら平年よりも出荷が早まった(7月25日から)。サイズはALを中心にMが混じる展開となりやや小ぶり。しかし、作柄は良く大豊作だった昨年よりは少ないものの平年を上回る見込み。</p> <p>全体の入荷は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。</p>
はくさい		6,039	98	5,781	80	88	84	-	-	<p>長野産中心の入荷で全体の8割を占める。長野産は7月中旬から出荷が始まり、出荷量は徐々に増加。ピークは8月下旬から9月始めの見込み。肥大は平年並みであるが、作付けは減っており平年を下回る見込み。</p> <p>全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を下回る見込み。</p>
キャベツ類		14,546	103	14,715	110	62	82	-	-	<p>群馬、岩手産中心の入荷で全体の約8割を占める。群馬産は低温の影響で少な目の入荷となっている。7月下旬から本格的な出荷時期に入る。例年に比べ小ぶりではあるが、入荷量は昨年を上回る見込み。</p> <p>岩手産は天候に恵まれ生育は順調。大玉傾向で前年比2割増しの出荷が続いている。8月も同じペースでの入荷が見込まれる。</p> <p>全体入荷量は平年を上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>
ほうれんそう		890	103	945	654	95	676	-	-	<p>岩手、群馬産が市況をリードする。群馬産の8月の入荷は7月に比べ減少、例年よりも少ない入荷となる見込み。特に盆明け以降は急減すると見込まれる。</p> <p>岩手産は潤沢な入荷が見込まれ、前年を上回る見込み。</p> <p>全体の入荷量は東北の主力産地からの入荷が多く前年を上回り、価格は前年を下回る見込み。</p>

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
ねぎ		4,247	102	4,282	294	100	259	121	2.8	<p>前半は茨城を中心とする関東産、後半は青森を中心とする東北産が市況をリードする。茨城産は通常であれば盆前で出荷が終了するが、今年は周年出荷体制が出来上がったことから9月までの継続出荷となる。入荷量は例年並の見込み。</p> <p>青森産の出荷は例年通り8月に入ってから本格出荷となる。生育は順調でピークは盆明けからとなる見込み。</p> <p>全体の入荷量は関東、東北産との豊作傾向で前年を上回り、価格は前年並みとなる見込み。</p>
レタス類		7,802	102	8,277	216	74	181	-	-	<p>長野産中心の入荷で全体の約8割を占める。長野産は7月中旬まで天候が良くなかったことから小ぶりのものが多く入荷しているが、8月に入れば肥大も回復し、平年並みの入荷となる見込み。標高1,300～1,500メートルの産地が中心。全体の入荷量は平年よりも少ないが不作だった前年を上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>
きゅうり		8,552	98	8,336	239	100	232	232	2.7	<p>福島を中心とする東北産が市況をリードする。福島産は雨よけが7月末で終了し、露地ものが中心となる。ピークは盆前後と予想されるが、現状は朝晩の冷え込みが厳しく生育はやや遅れ気味となっている。入荷量は前年並みと予想している。</p> <p>全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並みとなる見込み。</p>
なす		4,932	100	4,888	242	97	223	-	-	<p>栃木、埼玉、茨城産中心の入荷で全体の約6割を占める。栃木産は7月第4週から入荷が増加し、8月上旬からピークとなる。8月については前年並みの入荷を予想している。</p> <p>埼玉産は7月11日の降雹による被害のため入荷量が減少。回復は盆前後と予想。8月の入荷量は平年を下回る見込み。</p> <p>茨城産は7月中旬に第1回目のピークに入り、8月上旬は成り疲れから入荷量はやや減少する見込み。しかし、中旬には生育も回復し盆前後には2回目にピークに入る見込み。</p> <p>全体の入荷量は前年並みで、価格は前年を下回る見込み。</p>

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
トマト		10,206	100	10,358	239	100	231	220	2.2	<p>福島、青森を中心とした東北産が市況をリードする。青森産は5月降雹により生育が遅れていたが7月に入り生育は回復。8月は7月の遅れ分の入荷も見込まれ潤沢な入荷が見込まれる。</p> <p>岩手産は生育順調で本格的な出荷は8月に入ってからとなる。今年は盆前にピーク入りすると見込まれる。</p> <p>群馬産は7月後半から入荷量が増えた。出荷ピークは8月ので入荷量は日量15,000ケースと見込まれる。全体の入荷量・価格とも前年並みの見込み。</p>
ピーマン		2,212	100	2,201	253	119	230	-	-	<p>岩手、福島産中心で全体の約6割を占める。岩手産は生育良好で、ここ数年の中では最も多い出荷ペース。ピークは7月下旬から盆前後まで続く見込み。</p> <p>福島産も7月末から出荷ピークとなり8月上旬まで続く見込み。栽培面積も増え、作柄も昨年を上回る見込み。</p> <p>全体の入荷量は前年並み、価格は前年を上回る見込み。</p>
ばれいしょ		5,325	110	5,552	93	140	120	-	-	<p>北海道産中心の入荷となる。北海道産は生育順調。肥大良く、玉の揃いも良好で豊作傾向。</p> <p>全体の入荷量は主力の北海道産が前進傾向で量的に多く前年を上回り、価格は低迷した前年を大きく上回る見込み。</p>
たまねぎ		10,332	105	10,432	79	95	91	-	-	<p>兵庫、北海道産中心の入荷で全体の約6割を占める。兵庫産は大玉傾向から潤沢な入荷が予想され、前年を上回る見込み。</p> <p>北海道産は盆明けからの入荷予定。生育順調で肥大も良いことから平年以上の作柄となる見込み。</p> <p>全体の入荷量は前年を上回り、価格は前年を下回る見込み。</p>